

経営発達支援計画・事業評価委員会の報告について

令和3年度に実施した伴走型小規模事業者支援推進事業について、新型コロナウイルス感染対策として、事業評価委員会の各委員より書面にて事業評価いただきました。

については、その概要を下記の通りご報告します。

■評価委員 【委員】

翠田 章男 氏（富山商工会議所 前副会頭） 委員長
細川 謙一 氏（富山県商工労働部 地域産業支援課長）
谷澤 隆 氏（富山市商工労働部 商業労政課長）
布目 大剛 氏（（一社）富山県中小企業診断協会 相談役）
坂本 弘志 氏（北陸税理士会富山支部 支部長）
小金丸健一 氏（株日本政策金融公庫富山支店 国民生活事業統轄）
夏野 光弘 氏（（公財）富山県新世紀産業機構 中小企業支援センター長）

【オブザーバー】

柳澤 一男 氏（中部経済産業局 電力・ガス事業北陸支局 産業振興室長）

■内 容 令和3年度／伴走型小規模事業者支援推進事業などについて（事業報告）

■主な意見

- ・コロナ禍に加え物価高騰など厳しい経営環境が続く中での計画の遂行は困難を極めることになると思うが、小規模事業者に寄り添った事業を展開いただき、各事業者の伴走支援を行いながら持続的発展を支援いただきたい。
- ・コロナ禍であっても共同販売事業キラッとやま！2021など感染防止対策を講じながら、経営基盤の弱い小規模事業者に寄り添い経営支援に努めていただいていることは評価できる。
- ・共同広告事業や共同販売事業は好評な様子で喜ばしい。売上拡大実績もあったようなので引き続き売上への貢献度をモニターしていくことで「伴走型支援」の意味が深められると思う。
- ・新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中での事業実施となると思われるが、オンライン等の活用やITを活用した小規模事業者の経営支援強化に更に力を入れて欲しい。
- ・コロナ禍において小規模事業者は売上減少、収益悪化と厳しい業況にある。このような中で、支援計画を策定し継続的に伴走支援を行っていく事の意義は大きいと思われる。
- ・継続的な取り組みにより成果があがっており引き続き積極的な推進をお願いしたい。
- ・新商品・新サービス合同プレス発表会や共同広告（チラシ）の作成などメディアを活用した事業は、情報発信力の弱い小規模事業者にとって非常に効果的である。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で未実施の事業は致し方ないとは思われますが、それ以外の理由で実施できない事業が無いように鋭意頑張ってもらいたい。多くの事業者がこのような事業に参加できるように対応して欲しい。

以上